

Noism1×Noism2 合同公演

愛と死の物語の“物語”
CARMEN
劇的舞踊 **カルメン** 再演



劇的舞踊『カルメン』初演より（2014年）©Kishin Shinoyama

渦巻く愛と死、理性と野性、虚構と現実・・・複雑に絡み合う。

2014年にNoism設立10周年を記念して上演し、話題を呼んだ『カルメン』が早くも再演！
新たなキャストで劇場にあの熱気よみがえるー

演出振付：金森穰（りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督／Noism 芸術監督）

音楽：G.ビゼー《カルメン》オーケストラ版&組曲版&交響曲版より

衣裳：Eatable of Many Orders 家具：近藤正樹 映像：遠藤龍

出演：Noism1 & Noism2、奥野晃士（SPAC - 静岡県舞台芸術センター）

【新潟公演】 2016年1月29日（金）19:00、30日（土）17:00、31日（日）15:00

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

【神奈川公演】 2016年2月19日（金）19:00、20日（土）17:00、21日（日）15:00

KAAT 神奈川芸術劇場〈ホール〉

主催：公益財団法人新潟市芸術文化振興財団 製作：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化振興財団

提携：KAAT 神奈川芸術劇場 ※神奈川公演

作品について

2004年より、りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動を続ける Noism。設立から12年目を迎えた今なお、日本で唯一の劇場専属舞踊団として、芸術監督・金森穰率いるカンパニー活動と、舞踊家たちの圧倒的な身体によって生み出される作品は、国内外で高い評価を得ています。

劇的舞踊『カルメン』は2014年にNoism設立10周年を記念して上演。Noismとして初めてゲスト俳優を迎え、メリメの原作小説をベースにオリジナルの物語舞踊として創作しました。“野生の女”カルメンと“理性の男”ホセを中心に、様々な運命に翻弄される登場人物を重層的に描き、「言葉以上に観客のイメージを喚起する」総合芸術として、各紙年間ベストテンに最も多く選ばれ、話題を呼んだ作品です。

今回の再演では、新メンバーも加入し、新たなキャストिंगで上演します。作品と舞踊家の強度が試される「再演」は、舞踊家にとっては自身が抱える課題に改めて真摯に向き合い、個々の身体を通して作品をより成熟させる作業です。そして、2016年初夏に上演が決まっている、劇的舞踊第3弾『ラ・バヤデー』(脚本：平田オリザ)への序章として、Noismの舞踊家達にとって必要不可欠な経験でもあります。劇場専属舞踊団だからこそ可能な集団・時間・空間を駆使し、さらに深みを増した作品に是非お立会いください。

CAST

カルメン〈野性の女〉 井関佐和子

ホセ〈理性の男〉 中川賢

ミカエラ〈許婚の女〉 石原悠子

スニガ〈権威の男〉 佐藤琢哉

リュカス〈我欲の男〉 吉崎裕哉

ロンガ〈同郷の男〉 チェン・リンイ

ドロッテ〈謎の老婆〉 池ヶ谷奏

メルセデス〈異父の姉〉 梶田留以

フラスキータ〈異父の妹〉 田中須和子

マヌエリータ〈仇敵の女〉 飯田利奈子

ガルシア〈極道の男〉 山田勇氣

兵隊の男達 リン・シーピン、上田尚弘

ジプシーの男達 高木眞慈、山下菜奈

街娘達／ジプシーの女達 浅海侑加、鳥羽絢美、西岡ひなの、深井響子、西澤真耶

学者〈博識の老人〉 奥野晃士



劇的舞踊『カルメン』初演より(2014年)
©Kishin Shinoyama

Director's Note

金森 穰

再演という挑戦

この冬、Noism は早くも劇的舞踊『カルメン』を再演する。なぜ今回早めの再演を決めたのか。それはこの『カルメン』という作品が持つ力、実演する舞踊家たちが向き合わざるを得ない課題及びその克服が、12th シーズンを迎えた Noism の未来に必要な不可欠であると判断したからである。下記『カルメン』初演時に書かれた〈劇的舞踊シリーズ〉に対する私の企画意図を引用する。

《劇的舞踊シリーズ》

劇的舞踊とは 2010 年に発表した『ホフマン物語』から繋がるシリーズです。“劇的”という言葉には、物語劇としての“劇的”。舞台芸術に於けるイリュージョン、すなわち演出効果としての“劇的”。そして舞踊家達が自らの抑圧された内面を解き放つという、“劇的”演技の 3 つの意味が含まれています。

自らの抑圧された内面を解き放つこと。それは古今東西、時代を問わず芸術家たちが創作／表現の課題としてきたことであり、改めて掲げるような課題でもない。しかしここ日本のように、未だ舞踊が芸術としてよりもお稽古事と認識され、当の舞踊家たちの表現もその域を出ないものが多くある国においては、敢えて声高に掲げるべき課題である。その課題克服のためには高い技量や経験、磨かれた感性や強い精神力が必要だが、それら全てを養うために何より必要なのが“環境創り”である。

衣裳や美術、音楽や照明といった諸芸術が渾然一体となって一つの世界を生み出す舞台芸術は、総合芸術と呼ばれる。しかしその統合化は演出家によって成されるのではなく、その身一つにおいて全てを統合する、実演家たちの身体によって成されるものである。それは舞台芸術が空間芸術ではなく、身体芸術である所以であり、演出家の仕事とは、実演家によって諸芸術が統合されるための、その環境創りに他ならないのである。

劇的舞踊『カルメン』の再演は、既に世に生み出された舞台芸術の再上演ではなく、その“環境”において舞踊家たちがいかに自らの内面と向き合い、劇的演技を生み出すことができるかという挑戦である。そしてそれは既に創作が発表されている劇的舞踊第 3 弾を含む、Noism の未来に欠かすことのできない挑戦なのである。



Photo:Kishin Shinoyama

金森 穰 Jo KANAMORI

演出振付家、舞踊家。りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督／Noism 芸術監督。ルードラ・ベジャール・ローザンヌにて、モーリス・ベジャールらに師事。イリ・キリアンに認められ 20 歳で演出振付家デビュー。10 年間欧州の舞踊団で活躍後、04 年 4 月、日本初の劇場専属舞踊団 Noism を立ち上げる。14 年より新潟市文化創造アドバイザー。平成 19 年度芸術選奨文部科学大臣賞ほか受賞歴多数。

www.jokanamori.com

Noism (ノイズム)

www.noism.jp

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する日本初の劇場専属舞踊団。

演出振付家・舞踊家の金森穰がりゅーとぴあ舞踊部門芸術監督に就任したことにより、2004年4月設立。正式メンバーで構成されるプロフェッショナルカンパニーNoism1（ノイズムワン）と研修生が所属する Noism2（ノイズムツー）の2つのカンパニーからなり、日本国内をはじめ海外8か国11都市でも公演を行っている。'09年にはモスクワ・チーフホフ国際演劇祭との共同制作、'11年にはサイトウ・キネン・フェスティバル松本制作のオペラ&バレエにカンパニーとして参加する等、その活動は多岐に渡り、新潟から世界を見据えたカンパニー活動と、舞踊家たちの圧倒的な身体によって生み出される作品は、国内外で高い評価を得ている。設立から10年以上を経た今なお国内唯一の公共劇場専属舞踊団として、21世紀日本の劇場文化発展の一翼を担うべく、常にクリエイティブな活動を続けている。第8回朝日舞台芸術賞舞踊賞受賞。

Noism 芸術監督 = 金森穰

Noism 副芸術監督 = 井関佐和子

Noism2 専属振付家兼リハーサル監督 = 山田勇氣

Noism バレエミストレス = 真下恵

Noism1 = 中川賢、チエン・リンイ、石原悠子、池ヶ谷奏、吉崎裕哉、梶田留以、佐藤琢哉、リン・シーピン、
上田尚弘、田中須和子、浅海侑加（準メンバー）

Noism2 = 飯田利奈子、高木真慈、鳥羽絢美、西岡ひなの、深井響子、山下菜奈、秋山沙和、西澤真耶

Noism⁰¹



Photo : Noiriki Matsuzaki

Noism⁰²



Photo : Noiriki Matsuzaki

Profile

奥野晃士 Akihito Okuno ▶出演

俳優。2000年よりSPAC-静岡県舞台芸術センターに所属。主な出演作品に、鈴木忠志演出『イワノフ』（イワノフ役）、宮城聡演出『夜叉ヶ池』（山沢学円役）など。また Noism 金森穰演出振付の劇的舞踊『カルメン』や Noism0 への参加で、舞踊と演劇のジャンルを超えた新たな取り組みへの出演でも注目を集める。さらに「リーディング・カフェ」「ふじのくに歴史演説」「動読（どうどく）」「舞語り」など、自ら立案した新企画も好評。14年よりスイスに移住し、舞台演出、出演の他、公立大学の演劇講師としても高く評価される。15年より「街援隊（がいえんたい）アート・ムーブ」の活動を始動。街と演劇の結びつきについて新たな境地を目指している。



Eatable of Many Orders エタブルオブメニーオーダーズ ▶衣裳

多摩美術大学で建築を学んだ後アントワープ王立美術アカデミーを卒業した新居幸治と、アントワープ・パリでベルンハルト・ウィルヘルムに師事した後バルセロナでの革工芸経験を経た新居洋子が2007年にスタート。ブランド名の「Eatable=食べられる」は、コレクションテーマについてのリサーチから素材の理解、天然素材の使用、染織や革の鞣しなどの製法への執着を表現する言葉。そのこだわりが1点1点の商品に表れ、独特の素材感やデザインを楽しむ顧客が多い。現在、熱海を拠点にクリエイションを続け、毎シーズン、パリと東京で展示会を行っている。

www.eatableofmanyorders.com



近藤正樹 Masaki Kondo ▶家具

1979年生まれ。大学卒業後、飛騨高山で木工技術を習得し、アイルランドの「ジョセフ・ウォルシュ・ビスポーク」にて家具製作を行う。08年に静岡県函南町に工房を構え作品制作を行っている。曲木と削り出しの技術を活かした、有機的な曲線美と軽やかさ、座り心地の良さを両立させた家具製作を得意とする。代表作は、羊椅子、マンタ、コブラなど、動物をモチーフとした椅子。近年は注文制作や個展での作品発表を中心に活動し、他分野とのコラボレーションも積極的に行っている。Noismでは劇的舞踊『カルメン』、『ASU〜不可視への献身』、『箱入り娘』の木工美術、小道具も担当。

www.masakikondo.com



遠藤龍 Ryu Endo ▶映像

1983年新潟県出身

映像+写真

個人活動の他にプロジェクトユニット mikkyoz から作品を発表している。

www.endoryu.tumblr.com



公演情報

Noism1&Noism2 合同公演

劇的舞踊『カルメン』 再演

演出振付：金森穰

音楽：G.ビゼー《カルメン》オーケストラ版&組曲版&交響曲版より

衣裳：Eatable of Many Orders 家具：近藤正樹 映像：遠藤龍

出演：Noism1 & Noism2、奥野晃士（SPAC – 静岡県舞台芸術センター）

【新潟公演】

2016.1.29（金）19:00, 30（土）17:00, 31（日）15:00 *全3回

会場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

入場料：一般 S席 4,000円 A席 3,000円

学生 S席 3,200円 A席 2,400円（税込・全席指定）

* 学生券は N-PACmate 等の割引と併用はできません。当日受付にて学生証をご提示ください。



【神奈川公演】

2016.2.19（金）19:00, 20（土）17:00, 21（日）15:00 *全3回

会場：KAAT 神奈川芸術劇場〈ホール〉

入場料：一律 5,500円（税込・全席指定）



チケット発売日

- 2015.11.12（木）N-PACmate（りゅーとぴあ友の会）KAme（かながわメンバーズ）先行発売
- 2015.11.14（土）一般発売

チケット取扱

新潟・神奈川公演共通

- ▶ りゅーとぴあ（窓口・電話・オンライン）
チケット専用ダイヤル Tel: 025-224-5521（11:00～19:00, 休館日除く）
オンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>
- ▶ e+イープラス <http://eplus.jp/kaat/>（PC・MB 共通）

神奈川公演のみ

- ▶ チケットかながわ <http://www.kaat.jp/> Tel: 0570-015-415（10:00～18:00）
- ▶ チケットぴあ <http://pia.jp/t/kaat/>（PC・MB 共通） Tel: 0570-02-9999（Pコード 447-790）
- ▶ ローソンチケット <http://l-tike.com/>（PC・MB 共通） Tel: 0570-084-003（Lコード 38370）

※開演時間を過ぎますと、しばらくの間ご入場いただけない場合や、ご自席に着席いただけない場合がございます。予めご承知ください。

※未就学児の入場はご遠慮いただいております。

【主催】 公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団

【製作】 りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

【提携】 KAAT 神奈川芸術劇場 ※神奈川公演



平成 27 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

関連企画

劇的舞踊『ホフマン物語』舞台映像上映会 ※終了しました

映画監督・青山真治により映像化された2011年上演の劇的舞踊シリーズ第1作『ホフマン物語』を上演！

会場ロビーでは『カルメン』で実際に使用している家具や衣裳の特別展示も行います。

日時：2015年12月13日（日）10:30 *10:00開場 *上映時間約2時間

会場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈能楽堂〉

入場料：500円（全席自由）

*定員150名、要予約 *当日会場にてお支払いをお願いいたします。

申込方法：メールまたはFaxにて 件名：Noism『ホフマン物語』上映会申込

①申込者氏名（ふりがな）②人数 ③Tel/Fax ④メールアドレス

を明記のうえ、下記までお申込みください。

*定員に達した場合のみ折り返しご連絡いたします。



Noism1 & Noism2 合同公演
劇的舞踊『ホフマン物語』より
©Kishin Shinoyama

劇的舞踊『カルメン』バックステージツアー ※募集定員に達したため受付を終了しました

普段は見ることのできない『カルメン』の舞台裏を巡る「バックステージツアー」を開催します。

ツアー終了後は、りゅーとぴあ近隣のスペイン料理店ティオペペで、今回だけの特製「カルメンランチ」のオプションも！（有料、要申込）

日時：2016年1月31日（日）10:30～11:15

対象：劇的舞踊『カルメン』新潟公演チケットをお持ちの方（31日以外の公演チケットも可）

参加費：無料 定員：30名 ※先着順

申込方法：メールもしくはFaxにて 件名：『カルメン』バックステージツアー申込

①申込者氏名 ②Tel / Fax ③メールアドレス ④オプション「カルメンランチ」希望の有無 を明記のうえ、下記までお申込ください。

*チケットをお持ちのご本人様のみ承ります。*定員になり次第締め切らせていただきます。

*お申し込んだ方には折り返し確認のご連絡を差しあげます。

★ツアーオプション「カルメンランチ」

新潟・りゅーとぴあ近くにあるスペイン料理店「ティオペペ」にて、ツアー参加者限定で『カルメン』に合わせた特別ランチメニューをご提供します。ツアー後、新潟の食材を使ったおいしいスペイン料理を食べながら『カルメン』開演までの時間をお楽しみください。

料金：お一人1,400円（税込）*デザート、食後の飲み物つき

会場：ティオペペ（新潟市中央区東中通一番町86-81 サカエビル1F）

▶関連イベントのお申込・問合せ

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 事業企画部 Noism

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2

Tel: 025-224-7000 Fax: 025-224-5626 Email: info-noism@ryutopia.or.jp

企画に関するお問い合わせ

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 Noism 上杉・堀川

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2

Tel: 025-224-7000 Fax: 025-224-5626 Mail: info-noism@ryutopia.or.jp

Noism オフィシャルウェブサイト www.noism.jp  www.facebook.com/NoismPR  @noismPR